

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4077700120
法人名	有限会社トコトコ
事業所名	グループホームけやき
所在地	福岡県三井郡大刀洗町山隈23 (電話) 0942-77-4801

評価機関名	福岡県社会福祉協議会
所在地	福岡県春日市原町3-1-7
訪問調査日	平成19年11月15日
評価確定日	平成20年1月25日

【情報提供票より】 (平成19年10月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年 8月 1日
ユニット数	2 ユニット
利用定員数計	15 人
職員数	19 人
常勤	11人
非常勤	8人
常勤換算	4.4人

(2) 建物概要

建物構造	木造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	(有)(100,000円)	有りの場合償却の有無	有 / (無)	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,200 円		

(4) 利用者の概要 (平成19年10月25日現在)

利用者人数	15 名	男性	3 名	女性	12 名
要介護1	4 名	要介護2	7 名		
要介護3	4 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.7 歳	最低	78 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	小郡丸山病院
---------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

大通りから少し入った広い敷地に平屋の事業所が2棟あり、1棟はデイサービスセンターを併設している。程よい距離に近隣住宅があり、事業所周りは花壇や菜園、柑橘類、ビワ等、実のなる木々が植えられ、時期になれば利用者と共に収穫を楽しんでいる。玄関先のベンチでは、利用者が思い思いに日向ぼっこを楽しんでいる。室内は広く、フロアのソファにも思い思いに利用者が座り、壁面には心が和む絵画等が飾られている。建物全体が木材をふんだんに使われていることもあり、明るく温かく開放された雰囲気となっている。代表者をはじめ職員は理念の下、安心して過ごせる場所作りに配慮している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での改善課題について、改善シートを作成し、衛生管理や金銭管理、情報の確実な伝達、入浴支援について等、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、代表者が骨子を作成し、全職員の意見を聴取して取り組んでいる。
重点項目③	運営推進介護の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目4, 5, 6)
	運営推進会議を定期的開催している。現在の取り組みや今後の活動計画の報告や話し合いを行い、双方向からの活発な意見交換がある。委員からの意見により玄関口を改修する等、そこでの意見をサービス向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)
	玄関に意見箱を設置している。事業所内に第三者相談窓口について掲示し、折に触れて説明している。また、職員は家族来訪時に意見、不満等を聴くよう声かけに努めている。運営推進会議での家族の意見で、玄関先の砂利を車椅子が通り易いように改善中である。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域行事に参加し、近隣の保育園、小学校、他の事業所との交流がある。また、地域住民からの差し入れや立ち寄られることがある等、地元の人々との交流に努めている。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>【I 理念に基づく運営】</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えているサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「受容・許容・寛容」と事業所独自の理念をつくりあげ、利用者のケアに努めているが、地域密着型サービスの視点が加わっていない。	○	全職員で協議等を行い、これまでの理念に加えて、地域密着型サービスの視点を加えた理念をつくりあげてほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時及び月1回の会議時や必要に応じて理念の確認を行い、実践に向けて日々取り組んでいる。	○	地域密着型サービスの視点を加えた事業所独自の理念をつくりあげて、それを全職員で共有し、理念の実践に向けて、日々取り組んでほしい。
<b>2. 地域との支え合い</b>					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事に参加し、近隣の保育園、小学校、他の事業所との交流がある。また、地域住民からの差し入れや立ち寄られることがある等、地元の人々との交流に努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、代表者が骨子を作成し、全職員の意見を聴取して取り組んでいる。前回評価での改善課題について、改善シートを作成し、衛生管理や金銭管理、情報の確実な伝達、入浴支援について等、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を定期的に行っている。現在の取り組みや今後の活動計画の報告や話し合いを行い、双方向からの活発な意見交換がある。委員からの意見により玄関口を改修する等、そこでの意見をサービス向上に活かしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	定期的に行政や地域包括支援センターと話す機会を設け、事業所の実情等を報告している。		
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員は制度について外部研修で学ぶ機会があり、テキスト、研修記録、報告書等を整備し、会議時に他の職員へ伝達している。また、制度に関して利用者・家族等へ入居時に説明している。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
8	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回、暮らしぶりや健康状態等について近況報告書を作成し、家族等の来訪時に手渡すか送付している。また、緊急時には電話で状況報告をしている。金銭管理については、月1回の家族来訪時か送付する等して、家族等からサインをもらっている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関に意見箱を設置している。事業所内に第三者相談窓口について掲示し、折に触れて説明している。また、職員は家族来訪時に意見、不満等を聴くよう声かけに努めている。運営推進会議での家族の意見で、玄関先の砂利を車椅子が通り易いように改善中である。		
10	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は最小限に抑えるよう努力している。やむを得ない異動の際は、引継ぎの期間をとり、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
11	19	<p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 配置・昇進、教育訓練、定年・退職等において、差別はなく誰もが安心して働ける職場環境を目指している。</p>		
12	20	<p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>人権に関する外部研修を一部職員が受講し、テキスト、研修記録、報告書等を整備し、会議時に他の職員へ伝達している。</p>		
13	21	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は職員が段階に応じて育成するための計画をたて、日常的に学ぶことを推進し、職員が内部・外部研修を受ける機会を設けている。また、全職員が研修内容を共有できるよう、会議や内部研修で報告している。</p>		
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>月1回、代表者は近隣の他事業所と交流する機会を持っている。</p>	○	<p>代表者だけでなく、管理者や職員も含めた同業者と交流する機会を持ち、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしてほしい。</p>
<b>【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用開始前に事業所の見学、病院訪問等を行っている。やむを得ず即利用となった場合、本人が場の雰囲気に徐々に馴染めるよう絶えず見守り、支援している。</p>		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は利用者と共に料理等の家事を行い、漬物漬けや畑仕事や園芸、手芸、雑巾縫い等、利用者の得意分野で力を発揮してもらいながら、共に過ごし、学び支えあう関係を築いている。</p>		
<b>【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は日々の関わりの中で、利用者に声をかけ、思いや希望、意向等の把握に努めている。また、意思疎通が困難な場合は、本人の行動等から利用者の真意を推し測ったり、それとなく確認して、本人本位に検討している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の気づきや意見、アイデアを反映しながら、個別具体的な介護計画を作成している。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎にモニタリングをしているが、状態の変化がほとんど見られない場合等は、6ヶ月を超えて見直しているものもある。</p>	○	最低6ヶ月に1回、介護計画の見直しを実施してほしい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	41	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者が入院した際は、利用者を見舞いながら、本人・家族・医療機関と連携を図り、早期退院へ向けて取り組んでいる。本人や家族等の状況に応じて、通院や送迎等の必要な支援は、柔軟に対応している。</p>		



項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	45	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者一人ひとりの希望する医療機関への受診を支援している。通院介助については、家族同行となっているが、状況に応じて職員が代行する等、柔軟に対応している。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重症化や終末期に向けた方針がある。本人や家族等の意向を大切にしながら、本人・家族・主治医・職員で話し合って合意し、全員で方針を共有している。		
<b>【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	52	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	会議時だけでなく日常的に、個人情報保護法等、プライバシー保護について職員の意識向上を図り、利用者の誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を実践している。		
24	54	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調に配慮しながら、起床や飲酒等、希望にそって支援している。		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員は、一緒に準備や片付けをしている。同じテーブルで同じ食事をし、食事中は収穫した野菜等を話題にさりげなく介助をしながら、楽しい雰囲気づくりに配慮している。		

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
26	59	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	大まかな入浴時間等の設定はあるが、利用者一人ひとりの希望にあわせて、毎日入浴ができるよう柔軟に対応している。入浴拒否する人には、タイミングや声かけ、誘導等を工夫し、支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かし、畑仕事、漬物漬け、家事、手芸等、楽しみ事も含めて一人ひとり支援している。		
28	63	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や体調を考慮し、利用者の希望にそって散歩、買い物、ドライブ等で外出し、誕生会等のイベントでは外食する等、戸外に出かけられるよう支援している。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
29	68	○鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、居室や玄関は施錠していない。職員は外出傾向のある利用者を把握しており、気分転換を図ったり、後ろから付き添う等、職員の見守りや連携が出来ている。		
30	73	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成している。年2回、事業所独自で避難訓練を実施している。	○	今後はいざという時のために事業所だけの訓練ではなく、消防署の協力及び地域住民の参加や協力を得ながら、避難訓練等を実施してほしい。また、非常食や備品を準備してほしい。

項目番号		項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
外部	自己				
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
31	79	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量及び水分摂取量の記録が、全利用者分ある。献立は、利用者の一人ひとりの嗜好や栄養バランスに配慮しながら作成し、栄養士がチェックしている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
32	83	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は天井が高く、自然採光で柔らかな光と木の温もりがあり、随所に利用者の生け花を飾る等、季節感を採り入れている。不快と感じる音や光もなく、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室は、ベッド、仏壇、筆筒、テーブル、椅子、テレビ、時計等、利用者の馴染みのものを持ち込んでいる。また、カレンダー、家族写真、小物を思い思いに飾り、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>		

※  は、重点項目。